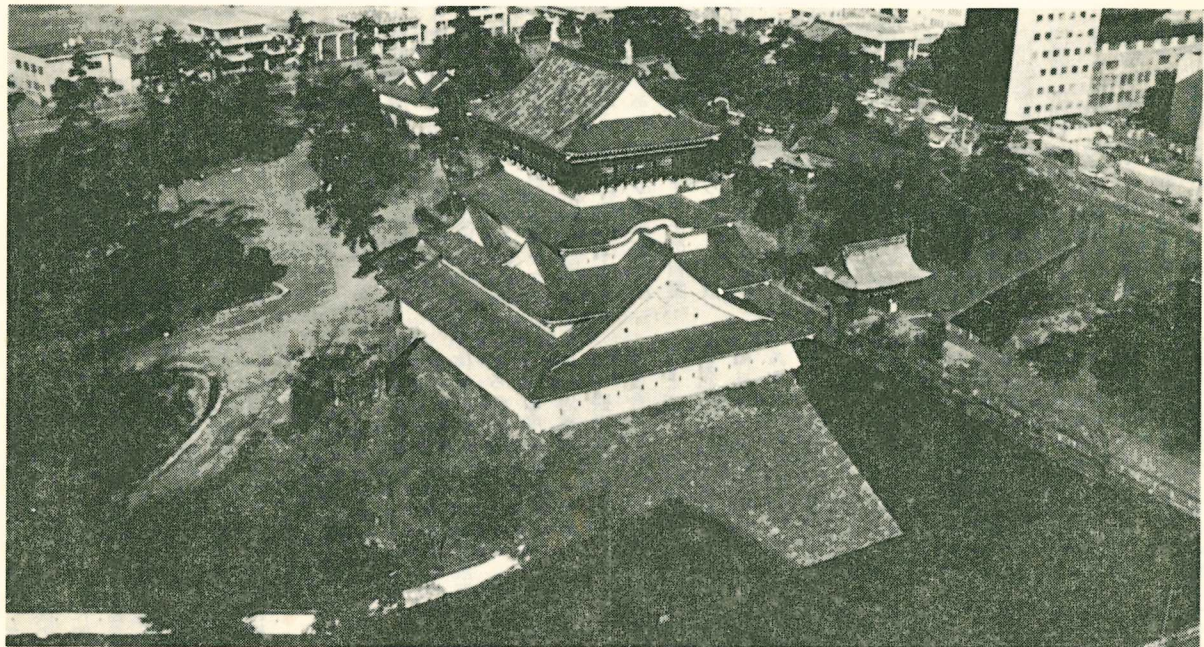


北九州市の文化財を守る会

会報

No.6 48. 2. 1

発行 北九州市の文化財を守る会
北九州市小倉区城内1-1
北九州市教育委員会文化課内
電話 582-2389



小倉城

北九州市は九州における陸海交通の要衝として、また工業地帯として、最も重要な都市の一つであり、一〇〇万人を越える市民が、毎日ダイナミックに生活を営んでいます。このような近代都市において、居ながらにして、白砂青松と奇岩の海岸で海水浴が楽しめる、国定公園の指定も決った、わが国の代表的カルスト台である平尾台をハイキングでき、同時に、天念記念物指定の千仏鐘乳洞で涼を味わい、また、めずらしい南蛮造りの小倉城主閣を仰ぎながら石垣と堀に囲まれた松林を散策できるような環境をもつ都市が、はたして他に多くあるでしょうか。さらに、私たちは全国的にも有名な戸畑祇園山笠と、小倉祇園太鼓という県指定の無形文化財の祭でもって、夏の一夜を楽しむこともできるのであります。加えて、私のような明治生まれの人間にとっては、百年の風雪に耐えて今なお残る国鉄門司港駅や、西日本工業倶楽部のような英国風の住宅に接しますと、ほんとうに心の安まる思いがするものであります。これらを見る時、つねに郷土の先輩達の優れた英智と努力に感謝したい気持ちで一杯になります。さて、北九州市も、ごく間近かに、「関門橋」の完成や新幹線乗入れをひかえ、一層の「近代都市」としての発展が期待されていますが、先に述べました、美しい自然と歴史の美を共に保存しながら、いわば「人間環境都市」として、調和のとれた発展が行なわれるよう、市当局の一層の文化財保存行政を期待したいと思います。また、最近聞くところによりますと、文化庁でも文化財を守るために、文化財保護法の大改正を急いでいるということとありますが、まことに慶ばしいことといわねばなりません。この際、市民ひとりひとりも、これら一つ一つの文化財を見直し、大切にしておく心を持ち、頂きたいものと、念願する次第であります。(菊池安右衛門)

投稿

埋蔵文化財への誤解
小倉区 伊藤 隆二
遺跡の発掘調査をしていると、「高松塚や松山の遺跡ならともかく、北九州で何が出るな。宝もんでも出るな」などこれと大同小異のいや味な言葉を受けることが多い。埋蔵文化財の発掘調査はまさに宝を掘り出すことですよといいたい。ただ新聞種をつくって、ブン屋さんにサービスするような金銀、珊瑚、綾錦でないかも知れないが、人間の文化史を知る貴重な

昭和47年の会のあゆみ

- 1.18 理事会開催
2.1 会報 No.3 発行
4.1 事務局移転
5.30 常任理事会開催
6.11 理事会・総会開催
30 常任理事会開催
8.1 会報 No.4 発行
13 第4回バスによる文化財めぐり実施
21~23 文化財夏期講座開催
9.16 常任理事会開催
11.1 会報 No.5 発行
11.26 第5回バスによる文化財めぐり実施

資料としての宝である。文化財を英語でカルチュラル・トレジャーという。文化的遺産の財宝という意味である。沢山発見されることでそこに意味があり、数少ないという事で意味があるのが埋蔵文化財である。縄文・弥生の時代でも、今判っている以上に多彩な文化があったかも知れない。長い時間の壁に隔てられて解明していかないだけだ。考古学の理論、技術は日進月歩している。無価値として捨てられた過去の資料も今日の新しい科学の目では宝となるかも知れない。一つの時代の文化はけっして単純なものではない。調査結果の積み重ねがその文化相を解いてゆく。埋蔵文化財を発掘調査する機会とはこれをやむなく破壊しなければならぬ悲しい機会である事が多い。調査は私たちの時代にあばかれた遺跡はこんなものであったと後世に伝える墓碑銘を綴るため

自然でない

「自然」の高値

八幡区 近藤 正

現在ほど、人々が「自然」に飢えていた時はありません。金と暇がないと「自然」に接することができないというのでは、それも無理からぬことだと思います。本当に急速に私たちのまわりから「自然」は姿を消しつつあります。考えてみれば、高価なものが尊ばれる今の世の中で、どうして値上りしついで高値(？)であるはずの「自然」だけが大切にされないのか不思議でなりません。私たちは、六十年代の高度成長政策の結末から、「自然」には限りがあり、一度失ったら取り返しがつかないこと、そして、ほっておいたら、ますます破壊はひどくなることを知りました。もうこれ以上「自然」破壊を許してはならないと思います。

こたつの中で思う

小倉区 吉村 保弘

暮れは三十日まで何かと忙しく、誰れが名付けたかは知らないが、忘年会という酒飲みの機会が多く、胃や肝臓も無理を押し、せめて正月は少し休ませたいと、二日、三日は、こたつの中で新聞や雑誌をたねんに読んだ。定年制の六十才延長、週休二日制の普及、労働時間の短縮と世の中は大型レジャー時代への移行がかけ足でやってくる気がする。いきおい、余暇時間は、旅行や趣味教養、スポーツにとびつくだろう。

事務局だより

▽暖冬異変のこの冬は、雨の日が多いようですが、会員のみなさんいかがお過ごしでしょうか。会報第六号ができあがりしましたのでさっそくお届けいたします。▽紹介の「文化財展」は、豊富な資料を広い会場いっぱい陳列しており、会員のみなさんにも、きつとご満足いただけたと思います。とくに「人びとの生活」コーナーは、民俗資料保存の重要性が問題になって今日、多くの人がびとの関心が集まると思っています。▽本会は一月十六日で満二十才を迎え、今度の総会では、役員改正が行なわれます。会の発展のために今後のみなさんご協力をお願いいたします。

を守ってゆく必要があると思うのです。最近では、全国的に「自然」を守ろうという住民運動が活発になってきていますが、政府や自治体の姿勢を変えさせるには、まだまだのようです。もっともつと多くの人々が「自然」の守り手になりましょう。そして、「自然」の大幅値下げを実現しましょう。

文化財研究

健柔抄

今村速男

先年、小笠原忠統氏より北九州市に移譲された小笠原文書「健柔抄」と題する十五冊の筆写本がある。この標題の意味がわからないのでこれを検討してみたい。...

いやしくも詩人の意を逐つて和歌の情を慕って詩文雅興の端に入り健柔を分ちここに載す。...

序などがあり、注目すべきは、領内各郡について、豊前州企救郡絶境詩七首、以下田川郡十九首、京都郡四首、仲津郡五首、築城郡二首、上毛郡二首のそれぞれ絶境詩がある。...

「健柔抄」についてはまだまだ書きたいことが多いが、今回はこれ位にしておきたい。

「健柔抄」という題の意味は、以下記す忠雄公の自序につくされている。原文は漢文であるが便宜上読み下し文にしてみた。

健柔抄序

そもそも健柔の二字は健は健にして柔は柔なり。詩は唐土より肇めて姫氏国にいたり和歌は倭国の風俗にしてその情專なり。...

この序文を読んで言えることは、忠雄公の文字観は詩においては、盛唐時代、和歌においては、新古今集をもっとも重んじていることである。...

「若竹の千代あらたまる園生哉」また、広寿山二代の法雲和尚も公の生涯に大きな影響を及ぼした人である。...

「健柔抄」についてはまだまだ書きたいことが多いが、今回はこれ位にしておきたい。

文化財展紹介

北九州市制十周年記念

文化財が語る北九州の歴史展

と き 二月九日―二月十四日
開会式 二月九日 午前九時三十分から
と ころ 井筒屋小倉店七階
主 催 北九州市・北九州市教育委員会

北九州市は今年二月で十周年を迎えます。合併後幾多の困難を打破して新市の基礎を築き、新しい発展の時代に入りました。...

○展示コーナー

1 北九州の風土

展示会の導入部で、有史前の北九州を紹介いたします。

△主な出品物▽
平尾台造岩生物、平尾台出土の獣骨、梅花石。

2 土器と人びと

縄文時代から古墳時代までを豊富な考古資料で紹介いたします。

特に北九州縄文人の骨格は、当時の風俗、習慣などを知る貴重なものです。

△主な出品物▽

山鹿貝塚出土土人骨、寿命・高島遺跡などの出土品、銅戈、一本松

3 万葉のころ

大宰府が「遠の朝廷」と呼ばれ都と九州との往来が繁くなり、万葉の歌によまれたころを中心に、古代の合戦、産業、交通を見ます。

△主な出品物▽

源氏物語絵巻、環状三鈴、足立山頂出土古鏡、経筒、大宰府政庁出土瓦、板櫃川の戦い説明図など。

4 武家の勃興

平家滅亡、南北朝の争いなど、中世の北九州の様相をさぐります。

△主な出品物▽

重要文化財長門本平家物語、源平合戦屏風、安徳天皇御座船模型、壇ノ浦合戦経過図など。

5 戦国武将と古戦場

軍記・武器で諸豪割拠の北九州をしのびます。

△主な出品物▽

花尾城跡出土品、大内家壁書、

6 藩政のころ

三百年つづいた藩政下、豊前・筑前の社会、経済、文化などいろいろな角度から見つめ、封建制の崩壊までを文化財でつづる。

△主な出品物▽

豊臣秀吉と北九州 重要文化財華文刺縫陣羽織。
黒田と細川 黒田二十四騎画像、細川忠興ローマ字印文書、キリシタンつばなど。

小笠原の小倉入国 小倉城図、宮本武蔵画像、連歌懐紙。

街道と宿場 国境石、木屋瀬宿場絵馬。
人びとの生活 豊国名所絵図、医者、武士、農民、漁民の用具など。

7 幕末から維新へ

封建制の崩壊、近代日本への第一歩を進めた時代。特に譜代大名

8 産業界の夜明け

近代日本創成の原動力となった北九州の産業、石炭と鉄を中心で紹介いたします。

△主な出品物▽

炭坑用具、炭坑風俗図、八幡製鉄所初期写真、西鉄開通時乗車券、特にあかりの移り変わりの資料は貴重。

9 北九州の人物

幕末から明治初期の著名人十数人を選びその功績を説明します。

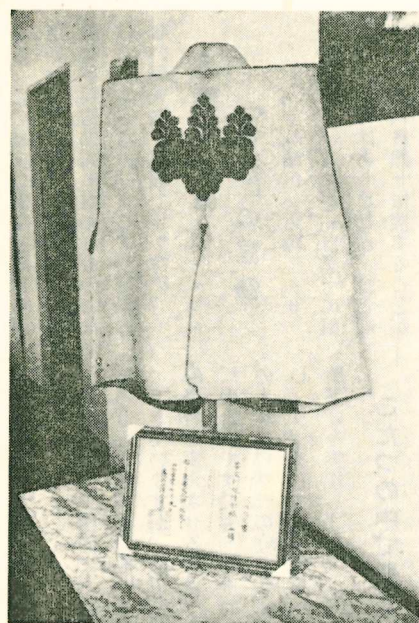
○映画コーナー

映画室を設け、連日文化財紹介映画・スライドを上映します。文化庁作製のスライド「筑紫の文化財」は一見の価値があります。

○相談コーナー

会場入口に相談コーナーを設け、市民の方々の文化財に対する質問や相談に応じます。

以上が簡単な紹介です。なお会期初日九時半から市長出席のもとに開会式がございます。一般公開にさきだち、ご参会の方々に「筑紫の文化財」をご覧に入れますので是非おいでください。



重文 華文刺縫陣羽織